

会派視察・研修報告書

会派名 日本共産党

代表者名 三輪寿子

1 日 に ち	2019 年 7 月 28 日（日）
2 視 察 先 研修名、主催者 及び会場	グランシップ・パルシェ 第 6 1 回自治体学校in静岡 主催：第 6 1 回自治体学校実行委員会
3 参 加 者	三輪 寿子
4 調査・研修の テーマ	「幼児教育・保育の無償化と公的保育制度の行方」 奈良女子大学・・・中山 徹氏
5 主な内容	●幼児教育無償化がすすめられた背景・・・労働力不足からスタートし、景気対策として女性の就業率を上げる。高齢者も再雇用政策で働き、1 億総活躍社会を目指している。 ●無償化の問題点・・・消費税が財源・・・保育料は応能負担で高所得者ほど恩恵が大きい。低所得者は保育料軽減されているので、恩恵は低い。給食費（主食費副食費）の実費徴収の負担が重くなる。最大の問題点は保育の質の低下「命の危険にさらされる。国基準を満たしていない認可外施設も無償化対象とした。今年度 10 月から無償化スタートするが、半年間は国が全額負担し、その後は地方交付税で最低必要額を交付する。一般財源に入るので、保育に必要な財源は確保することが求められる。待機児童対策の中心は、0, 1, 2 歳児で小規模保育事業や企業主導型事業が中心で進められているが、利用者のニーズと合致せず、定員充足率が下がっている。保育の産業化が進んでいる。新制度を展望する場合、大切なことは、小学校単位の施設整備・利用調整・連携を市町村が行うこと。保育者には全員保育資格を義務付けること。消費税以外で財源を確保し、子どもの視点に立って施策の優先順位を決めること。
6 所感、提言事 項、課題等	保育料の無償化は子育て世帯にとってとても良いと思うが、新制度が保育園によって格差を生まないよう親と子どもたちにとって安心、安全な保育を保障されなければなりません。 企業参入で子どもたちの保育がもうけの対象として軽んじられることがあってはならないし、何よりも命の危険にさらされないような保育基準・保育士の資格は不可欠で、施設環境の整備・保育士の待遇改善など多くの課題を残しています。当市では公設公営を誇りとしています。しかし、統廃合複合化で子どもたちの定員大規模化の流れが進んでいます。 改めて一人一人のこどもたちの成長発達について施設規模についても再検討することが求められると思います。